

**特定非営利活動法人都岐沙羅パートナーズセンター**

---

平成 26 年度事業報告及び決算

# I 平成 26 年度事業報告

## 【特定非営利活動に係る事業】

### 1. 住民活動支援事業

#### 1-1 住民活動支援窓口の開設（自主事業）

事業区分：自主事業

実施期間：平成 26 年 7 月～平成 27 月 6 月

内 容：岩船地域内における住民活動に関する各種支援（相談・仲介・情報提供等）窓口の開設。

#### 【実施概要】

朝日道の駅みどりの里内にある「グリーン・ツーリズム推進施設（旧バイオテクノロジー研究施設）」にて、活動相談、情報提供、会議室の貸し出し、各種問合せ対応などの住民活動支援を実施。

#### 【成果（センター利用件数）】

26 年度（H26.4～H27.3）のセンター利用件数は、748 件（前年比 +117）／896 人（前年比 +55）であった。これは平成 17 年度（元気づくり支援事業の最終年度）と同じ水準である。

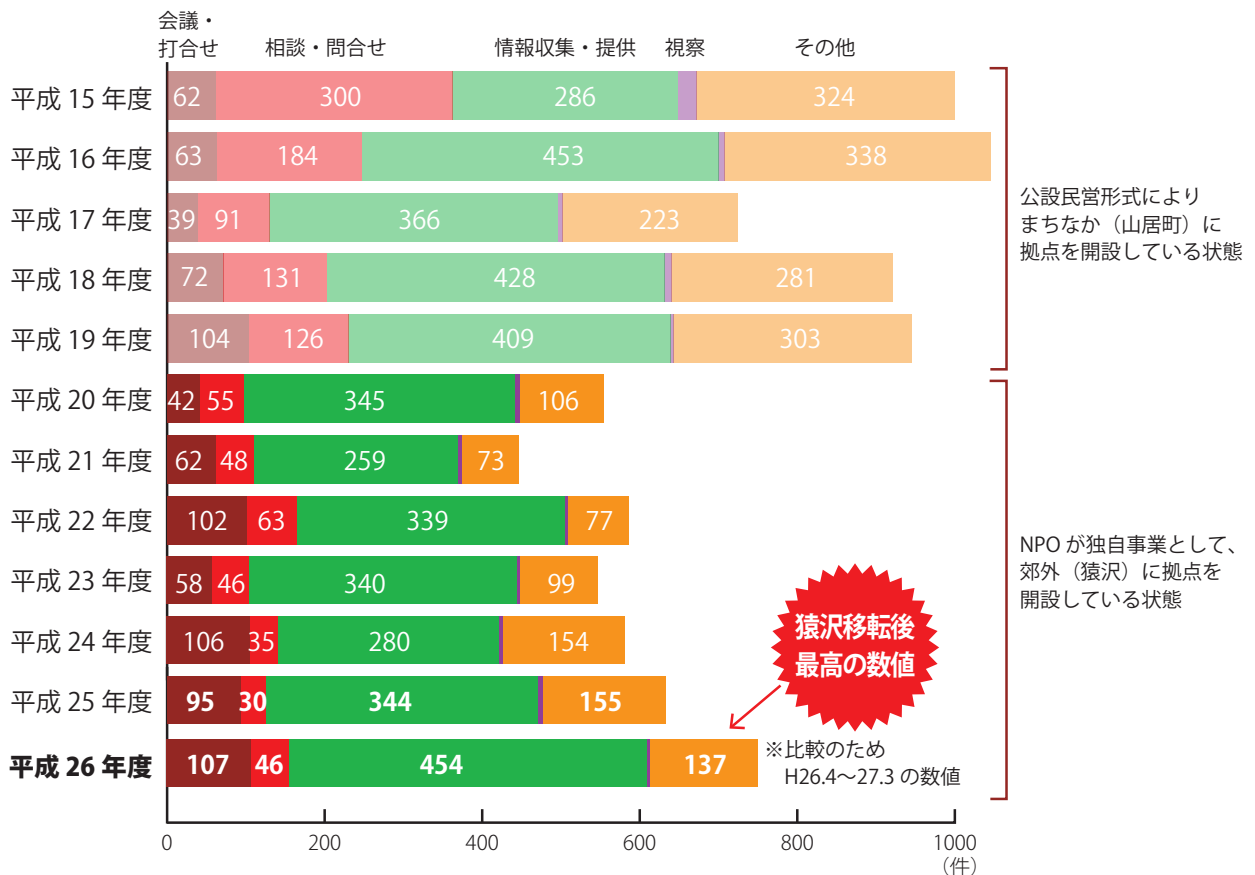


図 都岐沙羅パートナーズセンターの利用件数の推移

#### <利用件数の前年度との比較>

- 会議・打合せ →約 12% 増加（過去最高値）
- 相談・問合わせ →約 53% 増加（3 年前の水準に戻る）
- 情報収集・提供 →約 32% 増加（過去最高値）
- その他 →約 12% 減少

【所 見】 利用件数が回復傾向にあり、少しずつ住民活動支援窓口としての求心力が戻りつつある。

## 1-2 街なか拠点の整備（助成事業：新潟ろうきん福祉財団／2013年度地域社会創造助成事業）

【事業期間】 平成25年10月～平成26年9月

【内 容】 地域のソフトインフラストラクチャとして機能していた「地域づくり支援窓口」と「地域の交流サロン」という2つの機能を、村上市中心部にある空家・空店舗等を活用し、民設民営型の地域づくり拠点として街なかに再整備。

【実施概要】 (株) 富樫工務所の全面的な協力を得て、同社のモデルハウスをまちなか拠点として整備。住民活動支援窓口並びにコミュニティカフェとして機能させるための、施設改修（水回りの整備等／費用は折半）と備品の購入を実施。

（街なか拠点の概要）

(株) 富樫工務所独自のモデルハウス「木くぼりの家」（村上市鍛冶町5-22）を改修して開設。村上駅から徒歩10分に立地（駐車スペース有）。キッチンと50㎡以上のフローリングのリビングと6畳の和室等がある。

（利用形態）

両者の中で「賃借料は無償」「光熱費は実費負担」「(株) 富樫工務所の業務（モデルハウスの見学）に支障が無ければいつでも使用可（原則8～21時）」「住民活動支援及び各種イベントでの利用」という内容で協定を締結。

利用の受付・鍵の管理は、都岐沙羅パートナーズセンターが担当している。



【成 果】 ※平成26年10月～平成27年6月の利用状況

利用者数	のべ817人
利用団体数	6団体
利用回数	67回（うち都岐沙羅パートナーズセンター利用が27回）
利用目的	コミュニティスペース 19回
	各種教室 12回
	イベント開催 7回
	会議 4回
	サークルでの利用 2回
	視察対応 2回
	その他 21回

【所 見】 一軒家・民間のスペースという特性が活かされ、公共施設ではなかなか実施できない住民活動（例：安価な参加費を徴収するもの）のインキュベーション（孵化）拠点として、効果的に機能している。大々的なPRは行っていないものの、口コミで利用者が着実に増えている。

### 1-3 村上市若者チャレンジ応援プロジェクト（委託事業：村上市）

【事業期間】 平成 26 年 10 月～平成 27 年 6 月

【内 容】 村上市に在住・在勤する若者の集う場づくりをすることで、若者が語り合い、交流し、仲間づくりをする機会を創出し、若者の交流、人材育成、婚姻や定住の促進を図ることが目的。

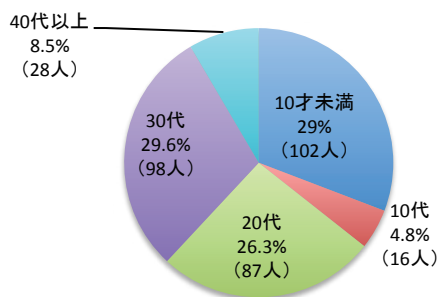
平成 26 年 12 月より、街なか拠点として整備した「木くぼりの家」を会場に、20～30 代の若者を対象とした交流サロン「おしゃべり Cafe」を定期的で開催。また、交流サロン参加者有志が主体となって実施する事業を、「チャレンジプロジェクト」として実施を全面的に支援した。

【実施概要】 おしゃべり Cafe 11 回開催  
 チャレンジプロジェクト 3 事業実施  
 ※ おしゃべり Cafe 内でのミニイベント 8 回開催

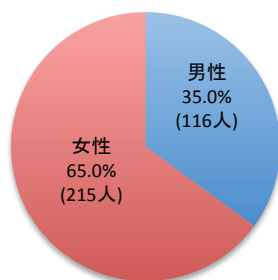
【成 果】 おしゃべり Cafe 参加者 延べ 331 人  
 (利用者：95 名／1 回平均 30 名)  
 チャレンジプロジェクト参加者 延べ 59 人  
 ミニイベント参加者 延べ 63 人

<おしゃべり Cafe 来場者のデータ>

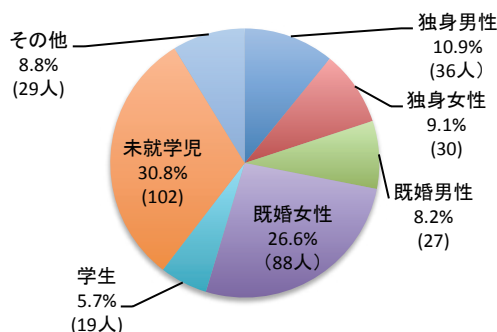
年齢別延べ来場者数 n=331



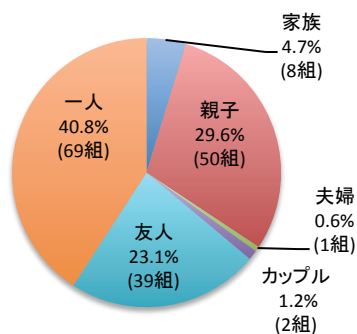
男女別延べ来場者数 n=331



属性別延べ来場者数 n=331



## 誰と来たか(延べ組数) n=169



【所見】 はじめた当初は参加人数も少なかったが口コミで徐々に広まり、今では高校生から子育て中の母親まで、幅広い若者層が参加するコミュニティスペースとなっている。1回の開催で60名の参加者となることもあり、こうした場が求められていたことが明確になった。一方で、独身男女の参加がまだ全体の2割程度と少ない。仕事をしていると、参加できる時間帯が限られてしまうため、応援プロジェクトを拡充する中で、独身層を取り込んでいきたい。

## 2. コミュニティビジネス支援

26年度においては、特に実施せず。

## 3. 地域ツーリズムの開発・プロモーション

### 3-1 村上地域グリーン・ツーリズム協議会事務局の運営 (事業協力)

朝日みどりの里にある朝日グリーン・ツーリズム推進施設(旧バイオテクノロジー研究施設)にて、官民協働で設立した「村上地域グリーン・ツーリズム協議会」の事務局を運営。各種会議の連絡調整・対外的な連絡窓口を担った。

(内容)

- 総会、幹事会、ワーキングチーム会議の運営
- 協議会の事務・経理作業

### 3-2 村上グリーン・ツーリズム協議会事業の実施 (事業協力)

村上地域グリーン・ツーリズム協議会の平成26年度事業について、全事業の企画・調整・コーディネートを担当した。



【実施概要】

(1) 協議会自主事業

① プロモーション活動

● 六本木・朝日神社新嘗祭イベント

日 時 平成 26 年 11 月 23 日 (日) 11:30 ~ 18:30  
 場 所 東京都港区六本木  
 協力者数 5 人  
 実施内容 芋煮振舞い・お酒試飲・物産販売・芋洗い体験イベント・餅つき  
 来場者数 約 350 名



● 東京油田・村上「餅でくっつき のびーる縁」

日 時 平成 26 年 12 月 14 日 11:00 ~ 16:00  
 場 所 東京都墨田区  
 協力者数 6 名  
 実施内容 杵つき餅体験 & 振る舞い・繭クラフトづくり体験・村上物産販売



② 研修会・視察

● 畑ゴハン塾 (長岡農業サポーター「思いのほか」の活動視察・意見交換)

日 時 平成 26 年 8 月 30 日 9:30 ~ 13:00  
 場 所 長岡山古志闘牛場  
 協力者数 3 名



●新潟県グリーン・ツーリズム大会 in 妙高

日 時 平成 26 年 10 月 15 日～ 16 日  
 場 所 新潟県妙高市  
 内 容 講演会・事例発表・体験活動に参加  
 出席者数 2 名（会長、事務局） 他村上市、関川村



●救急法講習会

日 時 平成 27 年 1 月 10 日 9：00～14：00  
 場 所 山形県鼠ヶ関  
 出席者数 2 名（会長、事務局）



(2) 平成 26 年度 6 次産業化交流ビジネス推進事業（補助事業：新潟県）

生産者と需要者、消費者を繋げる食の体験イベントを 4 回開催。

●夏野菜収穫 & 野菜まるかじり

協力団体 本間農園（本間正栄）× ストレイトアヘッド（佐藤直樹）  
 日 時 平成 26 年 7 月 21 日  
 場 所 村上市岩沢  
 参加者数 5 組





●桑抹茶スイーツを堪能する

協力団体 養蚕農家（横井栄子）× 農家民宿 畠山敏子・村山優子

日 時 平成 26 年 8 月 8 日

場 所 村上市大須戸・農家民宿ひどこ

参加者数 15 名



●秋の村上・酒米ランチを味わう

協力団体 酒米農家（田澤勝）× 銀座 Anastia（大原潔）

日 時 平成 26 年 10 月 20 日

場 所 村上市猿沢・またぎの家

参加者数 25 名



●えのきのお部屋見学 & きのこランチを味わう

協力団体 えのき生産者（大場俊一）×(株)まほろば（富田忠良）

日 時 平成 26 年 11 月 13 日

場 所 村上市岩沢・えのき工場

参加者数 18 名





【所 見】 今年度は6次化産業化交流ビジネス事業補助金を利用して着地型体験ツアーを実施し地域の食をテーマに生産者と需用者、参加者の交流推進を図った。また、首都圏の町内会との結びつきができた、今後は地域に訪訪してもらえ仕掛けづくりを図りたい。

### 3-3 地域資源活用推進事業～生産者と実需者の連携強化を目指して～（委託事業：新潟県村上地域振興局）

【事業期間】 平成26年7月～平成27年1月

【内 容】 ①地域内の飲食店や観光・宿泊施設等の実需者を対象に、生産者に求めるものを把握・整理する意見交換会の企画・実施。  
②地域内の飲食店や観光・宿泊施設等を会場に、地域食材や特産品等を活かした実需者向け交流プログラムの実験開催。

【実施概要】 ①「地域内実需者向け生産者への意見・要望等に関する意見交換会」

開催日時 平成26年9月3日（水）

会 場 村上地域振興局1階入札室

内 容 地域内飲食店による意見交換会

参加者数 7名（飲食店5名／オブザーバー2名）

②生産者と実需者のコラボレーション企画「おとなの夜学&ランチ」

●割烹新多久 × 本間農園～若手料理人が作る旬の里芋を使った贅沢ランチ～

開催日時 平成26年11月14日（金） 11：45～13：00

会 場 割烹新多久

参加者数 30名

●小料理紙風船 × 漁港岩船～岩船漁港直送の冬ならではの海の幸を味わう～

開催日時 平成26年11月29日（土） 18：00～20：00

会 場 小料理紙風船

参加者数 25名



【成 果】 意見交換会出席者：9名

おとなの夜学安堵ランチ参加者：のべ55名

【所 見】 これまで連携の少なかった生産者と飲食店との橋渡しができた。イベント終了後も継続的な連携・取引のきっかけとなった。

### 3-4 朝日まほろば夢農園管理事業（委託事業：村上市／朝日まほろば夢農園管理組合）

都市住民との交流促進を目的に、村上市が朝日みどりの里内に開設した貸し農園（クラインガルテン）について、その管理運営を支援。

【実施期間】 平成 26 年 7 月～平成 27 年 6 月

【実施概要】

- ①農園の利用者及び組合員への広報業務  
→夢農園プレス（11 回発行）／ホームページの更新
- ②農園利用者及び組合員の交流企画  
→年 5 回の交流イベントを企画・コーディネート（開園式・納涼祭・秋の野菜を使ったスイーツ講習会・収穫祭・手打ちうどん、錦玉子づくり体験会）
- ③組合員の視察研修のコーディネート
- ④夢農園事務局業務（窓口・経理・イベント業務）



【成 果】 夢農園年間利用者数 : のべ 425 人  
交流イベント参加者数 : のべ 147 人

### 3-5 観光資源活用トータルプラン（委託事業：村上市観光協会）

【事業期間】 平成 26 年 7 月～平成 27 年 6 月

【内 容】 訪れた観光客に地域内の体験だけではなく「生業」「伝統・文化」の背景にある物語に触れてもらい、この地への共感や新たな交流を生み出す事を目的に、来訪者に提供できる仕組みの構築を目指す。

【実施概要】

- なりわい文化物語・資料集の原稿作成
  - ・口頭説明が中心であった各地のなりわい文化物語を整理し、資料化するための原稿を作成及び資料集の編集作業を実施。
- 観光資源活用トータルプラン特別委員会への参画
  - ・委託事業とは別に、事業推進のための特別委員会に事務局スタッフ 2 名が参画（斎藤事務局長は委員長）。事業の推進に大きく寄与した。



【成 果】 なりわい文化の魅力（単なる観光情報の紹介だけではなく、その背景にある物語）を、地域内の観光関係者が、お互いに紹介しあえるようにするための情報共有ツールが完成した。

市町村合併から 7 年が経過しているものの、旧市町村の枠組みを超えた連

携・情報共有はまだ十分ではなく、有力なPRコンテンツとなり得る「なりわい文化物語」については、情報共有を図ろうにも、整理された情報（＝資料）すらない状態であった。今回で作成した「なりわい文化物語・資料集」によって、ようやく観光関係者間での情報共有を促すことができるようになった。

### 3-6 越後下関地区観光情報発信事業（委託事業：新潟県村上地域振興局）

- 【事業期間】 平成26年7月～平成27年1月
- 【内 容】 関川村大字下関地内の国指定重要文化財渡辺邸及び東桂苑等と道の駅「関川桂の関」内の施設の観光案内サインについて、関係各施設の管理者や下関地区の住民活動団体、村、県の担当者などから構成されたメンバーにより、観光案内サインのあり方を考えるワークショップ等を行い、観光客等に分かりやすく、関川村らしい趣のある観光案内サインのデザインを考え、実施設計の前段まで検討する。また、エリア全体を見渡した場合に不足している休憩施設やインフォメーションの表示等について整備の方向性を検討する。
- 【実施概要】 計4回のワークショップを開催し、案内サインの整備計画を作成した。
- 【成 果】 作成した計画をもとに、県道沿線の案内サインが整備された。



### 3-7 越後下関地区・観光ガイドブック原稿作成（委託事業：新潟県村上地域振興局／米沢街道地域づくり検討会）

- 【事業期間】 平成26年12月～平成27年6月
- 【内 容】 関川村下関地区周辺施設を訪れる観光客の満足度を向上させるため、観光地の場所や解説を掲載した観光ガイドブックを作成。下関地区等の住民活動団体や住民有志及び県の担当者から構成されたメンバーにより、観光ガイドブック作成検討会等のワークショップを行い、観光客にわかりやすい内容や使いやすいデザインのガイドブックを検討する。
- 【実施概要】 計3回のワークショップを開催し、「米沢街道編」「渡邊邸編」の2種類をまずは作成することとなった。「米沢街道編」について、イラスト作成及び編集デザイン・印刷を実施。
- 【成 果】 「関川村・散策ガイドブック① えちごせきかわ米沢街道編」1,000部作成





## 4. 地域づくり事業のコーディネート

### 4-1 学校と地域を結ぶオープンセッション（事業協力：村上市教育委員会）

- 【事業期間】 平成 26 年 6 月～ 9 月
- 【内 容】 学校と地域の様々な知識や技能を持った人々が、情報交換することにより地域みんなで子供達を育てる体制づくりを目指す事を目的に、学校関係者と地域の方々が一堂に会し情報交換を行う。
- 【実施概要】 平成 26 年 8 月 5 日 13:20～16:40  
村上市総合文化会館・公民館ホール、工作室  
＜内容＞
- ・学校と地域を結ぶ基礎講座（テーマ：郷育への提言／発表者 3 名）
  - ・団体紹介、情報交換（ブース形式のフリートーク）
- 【成 果】 地域団体 27 団体（45 名）／学校関係者（78 名）
- 【所 見】 まちづくり協議会が学校と連携した事業を開催していることがあり、今回初めてブースに参加していただいた。今後も協議会と学校の連携が増える可能性があり、いろんな連携を模索する上でお互いに十分話し合いする必要があると思われる。



### 4-2 いわふねの森啓発促進事業（委託事業：岩船・村上緑化推進連絡会議）

- 【事業期間】 平成 26 年 6 月～ 8 月
- 【内 容】 森林・林業関係事業体に対して、小学生を対象とした森林・林業教育受け入れに関するアンケート調査を実施する。
- 【実施概要】 村上・岩船地域内林業事業体・森林インストラクター・環境ボランティア団体等 135 件にアンケート用紙を送付。小学生を対象とした森林・林業教育受け入れについての可否や、可能な場合その内容などを調査した。
- 【成 果】 75 件の回答があり、回収率 55%となった。森林・林業教育受け入れについて 24 件（32%）の事業体または個人が協力可能と回答した。調査結果は学校等に配布された。
- 【所 見】 これまで決まった事業体に受け入れ依頼することが多かった森林・林業教育だが、アンケートを実施したことにより、体験受け入れや講師派遣などに協力可能な団体・個人が発掘され、新たな可能性が広がった。加えて、調査対象であった事業体・団体に対して、学校で森林・林業教育に取り組んでいることの周知にもつながった。

### 4-3 青少年森林林業体験塾・企画運営（委託事業：新潟北部地域林業振興協議会）

【事業期間】 平成26年7月～11月

【実施概要】 開催日時：平成26年10月18日～19日

開催場所：村上地域内（山北地区、朝日地区、神林地区）

参加者数：14名

実施内容：①講義「森林・林業の基礎知識」（講師：下越森林管理署長）

②木材加工施設見学（講師：スギトピア：板垣邦弘）

③間伐体験・木工体験（講師：丸太工房・小田茂弘）

④高性能林業機械作業見学（講師：（有）丸実・本間郁朗）

⑤原木椎茸生産現場見学（講師：いそべ農場・磯部盛）

⑥講義「国土を守り、暮らしを守る森林・林業」

（講師：東京農業大学・宮林茂幸教授）

【成果】 今回の参加者から3名が林業事業体に就職。

【所見】 高校生のキャリア教育として実施した。時期的なこともあり参加者集めに苦労した。今回の事業により若い働き手が不足している職業について、知ってもらう機会の重要性を感じた。



### 4-4 岩船郡・村上市木質バイオマス利活用計画書作成業務

（委託事業：新潟県北部地域森林整備加速化・林業再生事業推進部会）

【期間】 平成25年5月～平成26年9月

【内容】 当地域の木材利用可能性を適切に把握するとともに、現在稼働している既存施設の原材料消費量や将来の必要量の把握とあわせ、地域産業の振興を行う視点で、産学官連携の下、バイオマス施設の整備方針や整備手法を調査・検討する。

【実施概要】 検討員会及びアンケート調査を実施し検討委員会及びワーキング委員会を開催し意見を求めた。最終的利活用計画書としてまとめた。

【所見】 計画書では、地域の木材の賦存量から地域内の木材を利用するためには熱利用が好ましいとの意見で、薪ストーブ、木質バイオマスボイラーなど個人や公共施設での利活用を進める地産地消型の熱利用の推進という結果となった。今後は公共施設での利用を促進することで地域全体に広がるのが期待できる。



#### 4-5 関川村大島・畑作栽培講習会 企画運営（委託事業：関川村大島農家組合）

- 【事業期間】 平成 27 年 3 月～ 9 月
- 【内 容】 大島農家組合員の野菜栽培技術と直売所出荷の意識向上を図る事を目的とし、講習会の開催にかかるチラシ作成、講師派遣、企画調整を行う。
- 【実施概要】 組合員を対象に、座学での講座（講師：本間農園・本間正栄氏）と現地研修を月 1 回のペースで開催。（全 6 回中 5 回開催済）
- 【成 果】 延べ 102 名が参加
- 【所 見】 栽培講習会の運営は初めてであったが、地域からの委託で、参加者も積極的に大勢の方に参加いただいている。地域のニーズに対して敏感に反応し事業を取り組むことが中間支援組織としては重要と感じた。



#### 4-6 地域人材育成業務委託（委託事業：村上市）

- 【事業期間】 平成 27 年 3 月～ 9 月
- 【内 容】 村上市内にある 17 のまちづくり協議会について、設立から 2 年間の活動を総括するレポートを作成する。
- 【実施概要】
  - ①過去 2 カ年の事業報告書の分析
    - 17 のまちづくり協議会が公開している 2 カ年分の事業報告書を分析し、2 年間の活動状況を整理。
    - 分析にあたっては、「組織体制」「活動内容」「事業費の使途」などの項目について、できる限り類型化・数値化して整理。
  - ②まちづくり協議会関係者へのヒアリング調査
    - 協議会事務局へのヒアリング調査を実施し、協議会の活動状況や現在抱えている課題、今後の展望等を把握。
  - ③総括レポートの作成
    - ①、②の結果を踏まえて総括レポートを作成。
- 【成 果】 設立から 2 年が経過した 17 のまちづくり協議会について、全体的な活動状況を整理できた。（レポートは村上市のホームページからダウンロード可）
- 【所 見】 設立から 2 年の時点での総括であったが、各協議会とも手探り状態の中で、順調な滑り出しを見せているという印象を受けた（様々な課題も多々ある）。ただし、3 年目から活動が本格化している協議会が多いため、本来であれば、3 年目の事業実績を考慮した総括が望ましいと感じた。

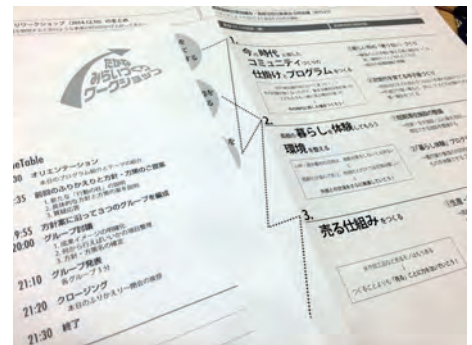
協議会名	設立年	活動内容	事業費	備考
協議会A	2015	地域清掃	100,000	
協議会B	2016	防災訓練	200,000	
協議会C	2017	文化祭	150,000	
協議会D	2018	環境学習	80,000	
協議会E	2019	高齢者支援	120,000	
協議会F	2020	子育て支援	90,000	
協議会G	2021	防災訓練	110,000	
協議会H	2022	地域清掃	70,000	
協議会I	2023	文化祭	130,000	
協議会J	2024	環境学習	60,000	
協議会K	2025	高齢者支援	140,000	
協議会L	2026	子育て支援	100,000	
協議会M	2027	防災訓練	160,000	
協議会N	2028	地域清掃	90,000	
協議会O	2029	文化祭	110,000	
協議会P	2030	環境学習	80,000	
協議会Q	2031	高齢者支援	130,000	
協議会R	2032	子育て支援	100,000	
協議会S	2033	防災訓練	150,000	
協議会T	2034	地域清掃	70,000	
協議会U	2035	文化祭	120,000	
協議会V	2036	環境学習	90,000	
協議会W	2037	高齢者支援	110,000	
協議会X	2038	子育て支援	80,000	
協議会Y	2039	防災訓練	140,000	
協議会Z	2040	地域清掃	60,000	





#### 4-7 高根活性化プロジェクト支援業務（委託事業：高根活性化委員会）

- 【事業期間】 平成 26 年 7 月～平成 27 年 3 月
- 【内 容】 ①これからの 10 年を見据えた集落ビジョン検討ワークショップの企画運営  
②年間行事を記録した映像編集作業  
③たかねブランドの米袋のデザイン
- 【実施概要】 ①ワークショップを 5 回開催し、これからの 10 年の見据えた集落ビジョンを作成。  
②1 枚の DVD に編集して納品。  
③3 パターンのデザインを作成。
- 【成 果】 ワークショップ参加者：延べ 111 人
- 【所 見】 既に大きな実績を上げている集落において、次なる 10 年を見据えた集落ビジョンの検討を行った。こうした動きは、今後、他の集落でも必要となってくると思われる。



#### 4-8 庄内・村上岩船地域広域連携推進会議（事業協力：山形県庄内総合支庁・新潟県村上地域振興局）

- 【事業期間】 平成 26 年 4 月～平成 27 年 6 月
- 【内 容】 隣接する山形県庄内地方と村上岩船地域との地域連携を推進するための事業実施。両地域の行政・NPO等で協議会を組織し、具体的な連携事業を実施。当センターは協議会の村上側の事務局として実施した全事業の企画・調整コーディネートを担当。

- 【実施概要】 ①子ども山伏修行体験  
開催日時 平成 26 年 8 月 23～24 日  
開催場所 山形県羽黒大聖坊  
内 容 体験プログラムへの参加募集を協働して実施  
参加者数 10 名
- ②江戸川区民祭り交流事業  
開催日時 平成 26 年 10 月 12 日  
開催場所 東京都江戸川区・篠崎公園  
内 容 両地域の P R 活動  
協力者数 6 名
- ③山形庄内 vs 新潟村上 食と酒の陣  
開催日時 平成 27 年 2 月 10 日  
開催場所 東京都中央区銀座  
内 容 食と酒をテーマにした両地域の P R 活動



協力者数 6名  
来場者数 52名

- 【成果】 子ども交流事業は夏休み最後の土、日曜日という事もあり、新潟側からの参加者がなかったが、子供達にとっては貴重な体験となると思われるので、27年は是非新潟側からも参加に努力したい。銀座でのイベントは定員を超える参加があり首都圏において両地域のPRができた。
- 【所見】 推進会議は平成22年に設置され、両地域の地域づくりの促進に取り組んできて、官民の連携と民間のネットワークが構築された。その中で推進会議としての役割が終わったということで推進会議は平成27年3月を持って解散したが、民間同志の連携を継続できる仕組みを構築すべきということで、現在、民間同志で事業を遂行している。

#### 4-9 東京大学・大槌イノベーション協創事業への協力（委託事業：国立大学法人東京大学）

- 【事業期間】 平成26年10月～12月
- 【内容】 岩手県大槌町で展開する「東京大学大槌イノベーション協創事業」において、地元の海産加工品「鮭ミンチ」を活用したレシピ集の原稿を作成する。
- 【実施概要】 鮭ミンチを活用したレシピを考案し、料理の撮影、レシピ集の編集・デザインを実施。村上の鮭を使った郷土料理のレシピも掲載。



#### 4-10 総合学習支援（事業協力：村上中等教育学校）

- 【事業期間】 平成26年8月～平成27年2月
- 【内容】 村上中等教育学校5年生（高校2年生に相当）の総合学習において、地域と連携した授業を実施したいという学校側の要望を受け、授業の企画・コーディネートを担当。
- 【実施概要】 各分野で地域を元気にする人たち4名に協力を依頼し、生徒自らがインタビューや取材を行いながら、「地域の人たちの仕事への想い」を伝えるイメー



ジポスターを作成する授業を全5回の行程で実施。

- 【成 果】 一連の授業を通じて、生徒達の地域を見る目・見方が大きく変化した。
- 【所 見】 これまでつながりのなかった高校との連携の第一歩が踏み出せた。学校・地域側ともに上々の反応があり、今後、継続して開催が望まれる。

## 5. 商品開発支援

### 5-1 郊外型ニュータウンで売れる商品づくり実験（自主事業） ～柏ビレジ（千葉県柏市）と村上地域内の小規模事業の連携プロジェクト～

【事業期間】 平成26年10月～平成27年6月

【内 容】 首都圏近郊の郊外型ニュータウンでは、高齢化の進行に伴い、買物弱者が増えつつある。高齢世帯のニーズに合わせた商品を、小回りの効く地域内の小規模事業者と共に開発・販売する仕組みづくりを実施。

【実施概要】 柏ビレジで活動しているNPO法人ビレジサポートと協働し、村上地域内の物産をニュータウン内にある商店街の空店舗で定期的に販売する実験を平成27年5月より開始。



## 6. 情報発信事業

### 6-1 インターネットによる情報発信（自主事業）

● ブログ（つきさらの元気ななかまたち（<http://blog.canpan.info/tsukisara/>））

記事更新 53件（一月平均4.4件）

訪問者数 434人

ページビュー 1,949件

● SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）

<都岐沙羅パートナーズセンターのfacebookページ>

いいね！件数 499件

リーチ数 47,047件

<おしゃべりCafeのfacebookページ> ※平成26年12月3日より運用開始

いいね！件数 160件

リーチ数 39,932件

<おしゃべりCafeのTwitterアカウント> ※平成26年12月3日より運用開始

フォロワー数 171件

ツイート数 1,020件（自動定期ツイート含む）

<おしゃべりCafeのLINEアカウント> ※平成27年3月3日より運用開始

友達数 20人

メッセージ送信数 28通



## 7. 講師派遣・視察受入

### 1) 視察受入

26年度の視察等の受入実績は以下のとおり。

	受入日	訪問者	人数	備考
1	H26.07.05	新潟県労働金庫経営企画部	10	有償
2	H26.08.20	新潟大学農学部	1	有償
3	H26.11.26	韓国文化観光研究院	3	ヒアリング対応
4	H26.12.09	京都産業大学	6	有償
5	H26.12.25	総務省地域力創造グループ地域振興室	3	有償
6	H27.1.25	弘前大学	5	ヒアリング対応
7	H27.05.12	山形県河北町	3	ヒアリング対応

### 【その他事業】

#### 1. 物販事業

事業区分：自主事業

実施期間：平成26年7月～平成27年6月

内 容：書籍委託販売を実施。

・村上市観光協会村上観光 BOOK「むムm」	12冊
・NPO法人まちづくり学校「マチダス2011」	1冊
・NPO法人まちづくり学校「まちあるきスタイルブック」	1冊
・新潟インタビューマガジン「LIFE-mag.」	8冊

## 【NPO 法人の運営】

### 1. 理事・事務局スタッフの活動

#### 1) 講演・講師 (12 件)

- H26/07/12 ファシリテーター研修 ((株) 都市環境研究所/東京) (斎藤)
- H26/07/22 地・宝・人ネットシンポジウム (共同通信本社/東京) (大滝)
- H26/09/18 荒川中学校2年生職業体験前マナー講座 (能登谷)
- H26/10/14 都筑区地区センター地域活動拠点機能強化講座 (横浜市) (斎藤)
- H26/11/08 米沢街道むらづくりフォーラム・パネラー (大滝)
- H26/11/12 オガールコミュニティデザインカレッジ (岩手県紫波町) (斎藤)
- H26/12/05 中小企業大学校三条校・講師 (大滝)
- H27/01/29 人口減少の時代に向けた都市の再編モデルの構築・特別調査委員会 (日本建築学会/東京) (斎藤)
- H27/01/30 地域における生活支援サービス提供に関する研究会 (総務省/東京) (斎藤)
- H27/02/01 ときがねフォーラム (東金市) (斎藤)
- H27/03/15 地域づくり楽習会 in さんぼく (斎藤)
- H27/05/22 村上市消費者協会・講演 (斎藤)

#### 2) 委員会・会議出席 (46 件)

- H26/07/11 村上市観光協会・企画開発委員会 (斎藤)
- H26/07/15 塩谷地区活性化支援事業・意見交換会 (斎藤)
- H26/07/18 防災教育サポーター会議 (長岡) (斎藤・鈴木・能登谷)
- H26/07/18 観光資源活用トータルプラン・財団視察対応 (斎藤・佐藤)
- H26/07/19 観光資源活用トータルプラン・財団視察対応 (斎藤)
- H26/07/24 地域ブランド戦略会議 (佐藤)
- H26/07/29 村上駅周辺まちづくりプラン策定委員会 (村山)
- H26/09/07 柏崎市元気なまちづくり事業補助金中間報告会・審査員 (大滝)
- H26/09/09 村上市観光協会・企画開発委員会 (斎藤)
- H26/09/10 塩谷地区活性化支援事業・意見交換会 (斎藤)
- H26/09/20 わたしの主張新潟県大会・審査員 (能登谷)
- H26/09/30 越後むらかみ food プライド食のモデル地域構築計画協議会 (佐藤)
- H26/10/09 新潟県社会教育委員会 (能登谷)
- H26/10/16 村上市観光協会・企画開発委員会 (斎藤)
- H26/10/21 村上市観光協会・観光資源活用 TP 特別委員会 (斎藤・佐藤)
- H26/11/04 村上駅周辺まちづくりプラン策定委員会 (村山)
- H26/11/14 塩谷地区活性化支援事業・意見交換会 (斎藤)
- H26/12/05 村上市観光協会・観光資源活用 TP 特別委員会 (斎藤・佐藤)
- H26/12/09 村上市観光協会・企画開発委員会 (斎藤)
- H26/12/10 村上地域の食材活用による地産地消推進検討会 (佐藤)
- H27/01/14 地産地消及びグリーンツーリズムの推進に向けた意見交換会 (鈴木・佐藤)
- H27/01/26 越後むらかみ food プライド食のモデル地域構築計画協議会会議 (佐藤)
- H27/01/26 塩谷地区活性化支援事業・意見交換会 (斎藤)
- H27/01/31 平成 26 年度ふるさとづくり大賞表彰式 (宇都宮) (忠・斎藤)

- H27/02/09 朝日地区配偶者対策事業準備委員会（能登谷）
- H27/02/12 村上市観光協会・観光資源活用 TP 特別委員会（斎藤・佐藤）
- H27/02/13 村上市郷育推進会議（鈴木）
- H27/02/16 村上駅周辺まちづくりプラン策定委員会（村山）
- H27/03/10 朝日地区配偶者対策事業準備委員会（能登谷）
- H27/03/17 村上市観光協会・観光資源活用 TP 特別委員会（斎藤・佐藤）
- H27/03/20 村上市観光振興計画管理委員会（斎藤）
- H27/03/25 越後むらかみ food プライド食のモデル地域構築計画協議会総会（村山）
- H27/03/26 まちづくり交流会議（鶴岡市）（斎藤・能登谷）
- H27/03/28 柏崎市元気なまちづくり事業補助金成果報告会・審査員（大滝）
- H27/04/20 新潟 DC 村上協議会・総会（斎藤）
- H27/04/27 塩谷地区活性化支援事業・意見交換会（斎藤）
- H27/05/12 村上市産業支援プログラム・座談会（斎藤）
- H27/05/13 柏崎市元気なまちづくり事業補助金事前審査会・審査員（大滝）
- H27/05/14 新潟市防災教育支援ワークショップ（斎藤・鈴木）
- H27/05/17 柏崎市元気なまちづくり事業補助金公開審査会・審査員（大滝）
- H27/05/18 村上市郷育推進会議（鈴木）
- H27/05/21 村上市観光協会・総会（斎藤）
- H27/06/02 村上市産業支援プログラム・座談会（斎藤）
- H27/06/04 新潟県社会教育委員会議（能登谷）
- H27/06/22 朝日地区配偶者対策事業実行委員会（能登谷）
- H27/06/23 村上市産業支援プログラム・座談会（斎藤）

### 3) 法人運営に関する活動

#### ①理事会（11 回開催）

- H26/07/11 第 1 回理事会（出席者 13 名 /H25 年度決算見込・H26 年度事業見込等）
- H26/09/17 第 2 回理事会（出席者 7 名 /H26 年度事業見込等）
- H26/10/21 第 3 回理事会（出席者 5 名 / 各種事業進捗状況報告等）
- H26/11/26 第 4 回理事会（出席者 6 名 / 各種事業進捗状況報告等）
- H26/12/16 第 5 回理事会（出席者 5 名 / 各種事業進捗状況報告等）
- H27/01/20 第 6 回理事会（出席者 4 名 / 各種事業進捗状況報告等）
- H27/02/06 第 7 回理事会（出席者 5 名 / 各種事業進捗状況報告等）
- H27/03/02 第 8 回理事会（出席者 6 名 / 各種事業進捗状況報告等）
- H27/04/08 第 9 回理事会（出席者 5 名 / 各種事業進捗状況報告等）
- H27/05/12 第 10 回理事会（出席者 4 名 / 各種事業進捗状況報告・H27 年度事業見込等）
- H27/06/09 第 11 回理事会（出席者 6 名 / 各種事業進捗状況報告・H27 年度事業見込等）

#### ②三役会議

- H26/08/06 第 1 回三役会議（出席者 4 名 / 今後の運営方針について）

#### ③部会

開催無し

#### ④その他

- H27/03/07 平成 26 年度ふるさとづくり大賞団体表彰受賞記念・まちカフェ & 祝賀会  
まちカフェ参加者：60 名 / 祝賀会参加者 50 名



# II 平成 26 年度決算報告

平成26年度 特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター 活動計算書

平成26年7月1日～平成27年6月30日

科目・摘要	金額 (円)			備 考
	当初予算	決算額	増 減	
<b>I 経常収益</b>				
1. 受取会費	555,000	399,000	▲ 156,000	
正会員受取会費	135,000	117,000	▲ 18,000	
賛助会員受取会費	420,000	282,000	▲ 138,000	
2. 受取寄付金	1,060,000	1,225,230	165,230	
3. 受取助成金等	2,000,000	2,000,000	0	
4. 事業収益 (特定非営利活動に係る事業)	11,549,960	12,411,114	861,154	
①住民活動支援	0	3,078,000	3,078,000	
②CB/SB支援事業	0	0	0	
③地域ソリューション開発・プロモーション事業	2,350,000	4,618,090	2,268,090	
④地域づくり支援事業	4,749,960	4,294,906	▲ 455,054	詳細は別紙1内訳書参照
⑤商品開発支援事業	200,000	43,852	▲ 156,148	
⑥情報受発信事業	0	0	0	
⑦講座・研修会の企画運営	0	0	0	
⑧講師派遣・視察受入	0	376,266	376,266	
⑨その他	4,250,000			決算額は①～⑧へ算入
5. 事業収益 (その他事業)	5,000	27,300	22,300	詳細は別紙1内訳書参照
6. その他収益	10,000	662	▲ 9,338	
受取利息	0	301	301	
受取配当金	0	300	300	
雑収入	10,000	61	▲ 9,939	
<b>経常収益 計</b>	<b>15,179,960</b>	<b>16,063,306</b>	<b>883,346</b>	
<b>II 経常費用</b>				
1. 事業費	12,690,000	13,100,016	410,016	
人件費	8,150,000	8,005,832	▲ 144,168	詳細は「財務諸表の注記」を参照
その他経費	4,540,000	5,094,184	554,184	
2. 管理費	1,386,500	1,853,427	466,927	
人件費	226,000	581,940	355,940	
給与手当	226,000	464,800	238,800	事務局職員 (パート)
法定福利費	0	84,102	84,102	
福利厚生費	0	33,038	33,038	常勤職員健康診断
その他経費	1,160,500	1,271,487	110,987	
外注費	210,000	54,000	▲ 156,000	税理士決算業務
旅費交通費	260,000	294,310	34,310	職員業務移動交通費・事務局長交通費
理事会交通費	60,000	9,000	▲ 51,000	役員交通費
事務用品費	15,000	7,403	▲ 7,597	
消耗品費	3,000	16,766	13,766	
印刷費	50,000	30,232	▲ 19,768	名刺/封筒
通信費	60,000	69,578	9,578	
水道光熱費	8,000	105,127	97,127	
使用料及び借料	15,000	0	▲ 15,000	
会議費	10,000	17,000	7,000	
広告宣伝費	0	0	0	
支払手数料	3,000	3,348	348	
接待交際費	0	0	0	
租税公課	2,500	6,700	4,200	契約用収入印紙
支払利息	16,000	111,972	95,972	NPO応援ローン利息
法人税・住民税及び事業税	70,000	70,116	116	
消費税納付額	320,000	355,300	35,300	
雑費	58,000	120,635	62,635	諸会費
3. 予備費	99,222	0		
<b>経常費用 計</b>	<b>14,175,722</b>	<b>14,953,443</b>	<b>777,721</b>	
<b>当期経常増減額</b>				
<b>III 経常外収益</b>				
1. 固定資産売却益		0		
2. 過年度損益修正益		0		
<b>経常外収益 計</b>		<b>0</b>		
<b>IV 経常外費用</b>				
1. 固定資産除却損		0		
2. 過年度損益修正損		0		
<b>経常外費用 計</b>		<b>0</b>		
<b>経理区分振替額</b>		<b>0</b>		その他事業会計→特定非営利活動に係る事業会計
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>1,004,238</b>	<b>1,109,863</b>		
<b>前期繰越正味財産額</b>	<b>▲ 1,004,238</b>	<b>▲ 1,004,238</b>	<b>0</b>	
<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>0</b>	<b>105,625</b>	<b>105,625</b>	

## 別紙1 事業収益の内訳

種別	事業名	金額	備考	
特定非営利活動に係る事業	①住民活動支援	若者チャレンジ応援プロジェクト	3,078,000	委託：村上市
	②CB/SB支援事業		0	
	③地域ツーリズム開発・プロモーション事業	村上地域グリーン・ツーリズム協議会事業	286,450	委託：村上地域グリーン・ツーリズム協議会
		地域資源活用推進事業	786,160	委託：村上地域振興局
		朝日まほろば夢農園管理事業	1,327,200	委託：村上市／朝日まほろば夢農園管理組合
		観光資源活用トータルプラン事業	832,000	委託：村上市観光協会
		越後下関地区観光情報発信事業	869,400	委託：村上地域振興局
		越後下関地区観光ガイドブック原稿作成業務委託	516,880	委託：村上地域振興局／米沢街道地域づくり検討会
	④地域づくり支援事業	学校と地域を結ぶオープンセッション企画運営	400,000	事業負担金
		いわふねの森啓発促進事業	117,288	委託：新潟北部地域林業振興協議会
		青少年森林・林業体験塾	639,754	委託：新潟北部地域林業振興協議会
		木質バイオマス利活用計画検討業務	70,200	委託：新潟北部地域林業振興協議会
		大島畑作講習会事業	50,000	委託：大島農家組合
		地域人材育成業務委託	795,960	委託：村上市
		高根活性化プロジェクト支援事業	1,789,704	委託：高根活性化委員会
		庄内・村上岩船地域広域連携事業	0	事業協力：庄内・村上岩船地域広域連携推進協議会
	⑤商品開発支援事業	地域外プロモーション事業への協力	15,000	事業協力：村上市産物消費拡大推進協議会
		郊外型ニュータウンで売れる商品づくり実験	28,852	自主事業
	⑥情報発信事業		0	
	⑦講座・研修会の企画運営		0	
⑧講師派遣・視察受入		376,266	自主事業	
	計	12,411,114		
その他	物販事業	27,300	自主：書籍（マチダス2011、Life.mag、むムム）販売	
	計	27,300		

## 別紙2 事業費の内訳

科目	非営利事業	補助金・助成金事業	その他事業	備考
(1) 人件費				
職員給料手当	5,131,200	604,800		事務局職員（常勤3名）
臨時雇賃金				
法定福利費	716,929	87,667		社会保険料事業主負担分
福利厚生費				
事業スタッフ報酬	1,465,236			事業従事者への報酬
人件費 計	7,313,365	692,467	0	
(2) その他経費				
外注費	90,000	1,379,928		イラスト作成／街なか拠点改装費
謝金	174,860			講師謝金
研修費	19,000			研修会参加費
旅費交通費	451,275	2,775		職員移動旅費
事務用品費	122,473			文具、業務用ソフト使用料等
消耗品費	116,471	46,926	40,000	日用品等
備品購入費		397,976		街なか拠点整備
印刷費	918,021			コピー代、印刷製本費
会議費	72,359			会場使用料等
材料費	446,768			体験プログラム材料費
通信費	320,051	3,571		メール便・郵送費・電話代等
使用料及び借料	184,560			GT推進拠点経費等
水道光熱費	199,948			GT推進拠点経費等
新聞図書費	27,024			新聞購読費
保険料	65,950			イベント保険
支払手数料	6,128	1,620		
租税公課	0			
雑費	6,500			
その他経費 計	3,221,388	1,832,796	40,000	
事業費 計	10,534,753	2,525,263	40,000	

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、原価基準により評価方法は総平均法によっています。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

### 2. 事業別損益の状況

事業費の区分は以下の通りです。

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業					補助金・助成金事業	その他の事業		事業部門計
	住民活動支援事業	地域ツーリズム開発・プロモーション事業	地域づくり支援事業	商品開発支援事業	講師派遣・視察受入		物販事業		
(1) 人件費									
職員給料手当	1,250,400	1,840,800	2,040,000			604,800			5,736,000
臨時雇賃金									0
法定福利費	172,025	255,852	289,052			87,667			804,596
福利厚生費									0
事業スタッフ報酬		668,704	649,352		147,180				1,465,236
人件費計	1,422,425	2,765,356	2,978,404	0	147,180	692,467	0		8,005,832
(2) その他経費									
外注費		90,000	0			1,379,928			1,469,928
謝金	20,860	10,000	144,000						174,860
研修費			19,000						19,000
旅費交通費	46,215	65,861	278,431	26,188	34,580	2,775			454,050
事務用品費	7,014	114,945	514						122,473
消耗品費	103,026	13,445				46,926	40,000		203,397
備品購入費						397,976			397,976
印刷費	65,598	243,049	607,254	2,120					918,021
会議費		9,959	62,400						72,359
材料費	132,582	172,084	111,692	30,410					446,768
通信費	74	291,224	25,130	3,623		3,571			323,622
使用料及び借料		174,360	10,200						184,560
水道光熱費		199,948							199,948
新聞図書費		24,000	3,024						27,024
保険料	61,750		4,200						65,950
支払手数料	0	2,592	2,996	540		1,620			7,748
租税公課	0	0	0						0
雑費	1,500		5,000						6,500
その他経費計	438,619	1,411,467	1,273,841	62,881	34,580	1,832,796	40,000		5,094,184
事業費計	1,861,044	4,176,823	4,252,245	62,881	181,760	2,525,263	40,000		13,100,016



### 3. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産	0	0	0	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	0	0	0
投資その他の資産	0	0	0	0	0	0
出資金	10,000	0	0	10,000	0	10,000
合 計	10,000	0	0	10,000	0	10,000

### 4. 借入金の増減内訳

借入金の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	1,100,000	5,700,000	1,100,000	5,700,000
長期借入金	0	0	0	0
合 計	1,100,000	5,700,000	1,100,000	5,700,000

### 5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書／事業費)		
事業スタッフ報酬	1,465,236	1,209,352
(活動計算書／管理費)		
活動計算書 計	1,465,236	1,209,352
(貸借対照表)		
貸借対照表 計	0	0

## 平成26年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

平成27年6月30日時点

科 目	金 額		科 目	金 額	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産の部			1 流動負債の部		
(現金・預金)			短期借入金	5,700,000	
現金	166,780		前受金	0	
普通預金	6,356,841		預り金	97,650	
(売上債権)			未払金	697,616	
未収金			未払法人税	70,000	
(その他の流動資産)			未払消費税	355,300	
立替金	6,356				
仮払金	486,214		負債合計		6,920,566
流動資産合計		7,016,191			
2 固定資産合計			III 正味財産の部		
出資金	10,000		前期繰越財産	-1,004,238	
固定資産合計		10,000	当期正味財産増減額	1,109,863	
			正味財産合計		105,625
資産合計		7,026,191	負債及び正味財産合計		7,026,191

## 平成26年度 財産目録

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

平成27年6月30日時点

科 目・摘 要	金 額		
I.資産の部			
1) 流動資産の部			
現金預金	現金	166,780	
	普通預金(村上信用金庫本店)	3,677,977	
	普通預金(新潟労働金庫村上支店)	2,678,864	
			6,523,621
立替金	村上地域グリーンツーリズム協議会	6,356	
			6,356
仮払金	通信費	67	
	旅費交通費	54,405	
	外注費	220,000	
	租税公課	2,000	
	事業スタッフ報酬	200,000	
	備品消耗品	2,790	
	消耗品	3,272	
	支払手数料	160	
	会議費	3,520	
			486,214
出資金		10,000	
			10,000
	流動資産の部 合計		7,026,191
2) 固定資産の部		0	
	固定資産の部 合計		0
	資産の部 合計		7,026,191
2 負債の部			
1) 流動負債の部			
預り金	源泉税/雇用保険料/社会保険料	97,650	
			97,650
短期借入金	新潟労働金庫村上支店	5,700,000	
			5,700,000
未払法人税		70,000	
			70,000
未払消費税		355,300	
			355,300
未払金	6月分給料	520,950	
	職員移動費	47,005	
	その他	61,916	
	社会保険料	67,745	
			697,616
	流動負債の部 合計		6,920,566
2) 固定負債の部			
	固定負債の部	0	
			0
	負債の部 合計		6,920,566
3 正味財産の部			
	正味財産		105,625



# 監査報告書

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター  
理事長 忠 隆司 様

私たちは、平成 26 年 7 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日までの会計監査を行い、次のとおり報告する。

## 1 監査の方法の概要

会計監査について、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検査した。

## 2 監査意見

- (1) 収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく表示しているものと認める。
- (2) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

平成 27 年 7 月 28 日

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

監事

梅田久子



監事

大滝園志





おかげさまで、都岐沙羅パートナーズセンターは「平成26年度ふるさとづくり大賞・団体表彰」を受賞いたしました。



特定非営利活動(NPO)法人  
**都岐沙羅パートナーズセンター**  
iwafune, Niigata

この資料は平成27年度通常総会の説明の際に使用したものです。



## 平成26年度 事業報告及び決算報告



# 1 住民活動支援

## 住民連携による街なか拠点を開設

- ▷ (株) 富樫工務所との協働により、モデルハウス「木くばりの家」を改修して開設。
- ▷ 企業PRと公益性のある活動支援を両立させたことで、必要最小限の経費で維持管理できる仕組みを構築。

## 次世代の担い手となる20~30代の交流サロンが半年で定着

- ▷ 街なか拠点を会場に、「おしゃべりCafe」と称した交流サロンを計11回開催（のべ参加者数331人）。
- ▷ スタート半年で、若者の交流サロンとして地域に定着化させた。
- ▷ 村上市との協働事業化（3年スパンでの事業委託）により、事業展開を安定化。
- ▷ 民設民営の特性を活かし、CB的な取り組みや新たな人材の発掘が進展中。



## 若者チャレンジ応援プロジェクトの事業フレーム

- 1 自らの発意で小さなアクションを起こし、成功体験を積む。
- 2 成功体験を積み重ねし、「やる気」と「継続性」を育む。
- 3 徐々にアクションの内容を高度化させる。
- 4 既存の地域の仕組みに参加する。

若者チャレンジ応援プロジェクトの事業領域



### 1年目 (H26)

Step1 場をつくり仲間意識を醸成する。

#### おしゃべり Cafe 5回以上開催

- ・20~30代の若者が自由に集い・語り合う社交場。(若者版のバブ (=Public House))
- ・メンバーは固定しない。
- ・好きなきときに来て好きなきときに帰れる。
- ・同世代の世話役がいる。

#### SNSによるコミュニケーション

- ・LINE や Facebook などの SNS を活用し、日常的なコミュニケーションが取れる仕組みを提供。

Step2 実際に何かやってみる。

#### チャレンジプロジェクト

- ・「おしゃべり Cafe」から生まれた企画を、「チャレンジプロジェクト」として参加者が中心となって実際にやってみる。

◎意識の向上、自信・経験の up

26年度の定性目標

- ◇若者のまちづくりに対する意識の醸成。
- ◇若者同士の交流による「つながり」の強化。

26年度の定量目標

- ◆おしゃべり Cafe 参加者数：延べ70人
- ◆チャレンジプロジェクトの実施：1回

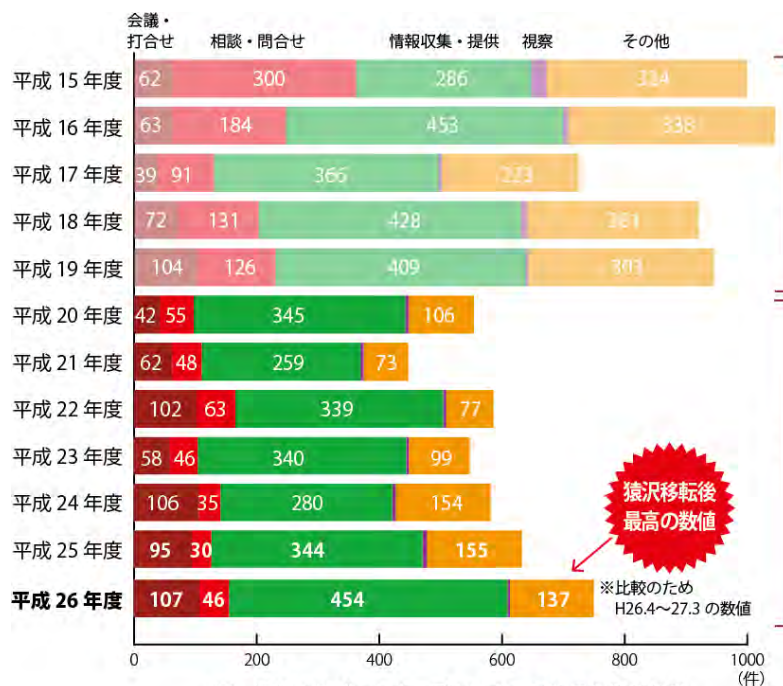
まずは「やってみる」。反応を見定める。

◎若者同士の仲間意識を醸成し、「実際に何かやってみよう」という機運を高める。



## 住民支援窓口の利用件数が回復傾向に！

→前年比18.5%増 ※「相談・問合せ」は平成17年度の水準に回復



公設民営形式により  
まちなか（山居町）に  
拠点を開設している状態

NPOが独自事業として、  
郊外（猿沢）に拠点を  
開設している状態

図 都岐沙羅パートナーズセンターの利用件数の推移

## 2 コミュニティビジネス支援

26年度は実施せず。

## 3 地域ツーリズムの開発・プロモーション

### ① 2つの組織の事務局を受託（事業コーディネート含む）

- 村上地域グリーン・ツーリズム協議会
- 朝日まほろば夢農園管理組合

### ② プログラムの開発・試行

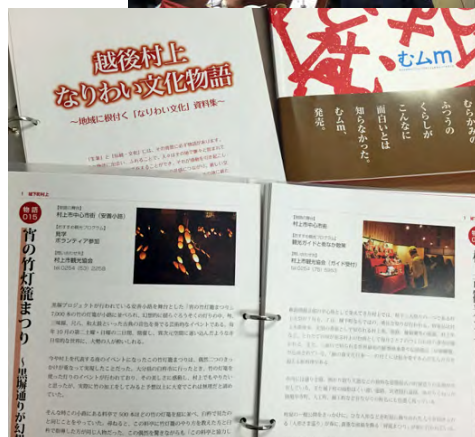
- 6次産業化交流ビジネス推進事業
- おとなの夜学&ランチ

### ③ 資料集・ガイドブックの作成

- 越後村上なりわい文化物語・資料集
- 関川村散策ガイドブック～米澤街道編～

### ④ 観光関連計画づくり支援

- 越後下関地区観光情報発信事業





地域外でのプロモーション活動	2回
視察・研修の企画・参加	5回
体験プログラムの開発・試行	6本
イベントの企画	5回
ワークショップの企画運営	5回
地域内参画事業者数	23団体

【地域ツーリズム関連の26年度実績】

事業を通じて生み出した**交流人口**

**1,245人** (H25 : 1,300人/H24 : 1,453人)

## 4 地域づくり事業のコーディネート

### ①多様な主体が参加した交流機会の創出

#### ●学校と地域を結ぶオープンセッション

(通算9回目)

#### ●まちカフェ (通算5回目)

【26年度実績】

開催回数：2回 (H25 : 3回/H24 : 3回)

参加者数：183人 (H25 : 238人/H24 : 216人)

参加者数：67団体 (H25 : 74団体)

※1回あたりの参加者・団体数が年々増加！



### ②研修・講座の企画運営

#### ●青少年森林林業体験塾

→参加者14名/うち3名が林業事業体に就職

#### ●関川村大島・畑作栽培講習会

→のべ102名が参加 (高評価)





### ③計画づくり支援・調査分析

#### ●まちづくり協議会の活動分析 (H24-25分)

→17協議会の運営・事業・収支を分析しレポート作成  
※市のHPからダウンロード可

#### ●高根集落・地域ビジョンづくり<sup>他</sup>

→5回のワークショップにのべ111人が参加

#### ●岩船郡・村上市木質バイオマス利活用計画策定支援

#### ●森林・林業教育受入に関するアンケート調査



### ④総合学習支援

#### ●村上中等教育学校5年生

→生徒自らがインタビュー等を行いながら、「地域の人たちの仕事への想い」を伝えるイメージポスターを作成



### ⑤地域外のまちづくり活動・事業への支援・協力

#### ●庄内・村上岩船地域広域連携推進会議

#### ●東京大学・大槌イノベーション協創事業



## 5 商品開発支援

### ①郊外型ニュータウンで売れる商品づくり実験

#### ●柏ビレジと村上地域内の小規模事業の連携プロジェクト

→柏ビレジで活動しているNPO 法人ビレジサポートと協働し、村上地域内の物産をニュータウン内にある商店街の空店舗で定期的に販売



### 【26年度の総括】

●**若者支援**という切り口からの「住民活動支援」がスタートし、予想以上のスピードで**成果（新たな担い手の発掘・育成）**が挙がり始めている。

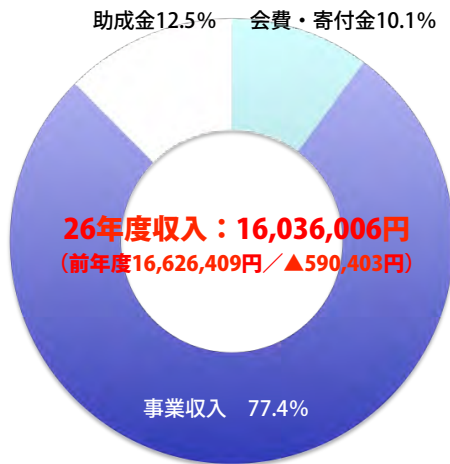
●交流人口拡大に向けた取り組みの蓄積により、**誘客コンテンツ**は着実に**充実**。地域内の関係者が、**主体的に取り組みを継続**させるための**ビジネスモデル化**が今後の課題。

●**次世代**を見据えた**人材育成・計画づくり**が増えてきている。**地方創生とリンク**した展開が、今後より一層求められる。

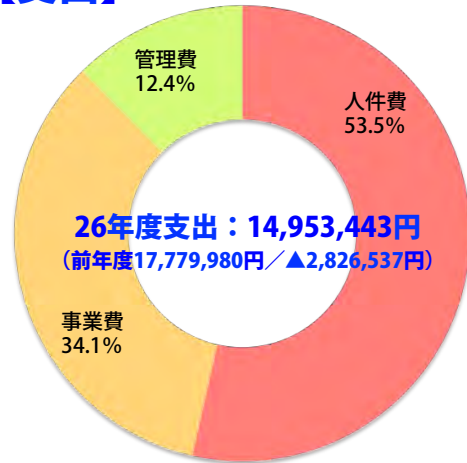


# 平成26年度決算

## 【収入】



## 【支出】



平成25年度  
 当期収支差額 ▲1,153,571円  
 次年度繰越金 ▲1,004,238円

### 平成26年度

当期収支差額 1,109,863円  
 次年度繰越金 105,625円 →債務超過状態を解消

## 【収入の推移】

※25年度はH25.4～H26.6の15ヶ月間

	平成24年度	平成25年度※	平成26年度
会費・寄付金	551千円(4.5%)	478千円(2.8%)	1,624千円(10.1%)
事業収益	11,562千円(95.5%)	15,904千円(95.7%)	12,411千円(77.4%)
助成金	0千円	185千円(1.1%)	2,000千円(12.5%)
その他	1千円	59千円(0.4%)	1千円(0.0%)
計	12,114千円	16,626千円	16,036千円

## 【支出の推移】

※25年度はH25.4～H26.6の15ヶ月間

	平成24年度	平成25年度※	平成26年度
人件費	6,176千円(50.5%)	10,054千円(56.6%)	8,006千円(56.6%)
(内常勤職員分)	6,166千円(50.4%)	8,629千円(48.6%)	5,821千円(48.6%)
(内事業スタッフ報酬)	10千円(0.1%)	1,425千円(8.0%)	1,465千円(8.0%)
事業費	3,833千円(31.3%)	5,214千円(29.3%)	5,094千円(29.3%)
管理費	2,221千円(18.2%)	2,512千円(14.1%)	1,853千円(14.1%)
計	12,230千円	17,780千円	14,953千円